

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	3 農林業の付加価値を高める	施策名	① 安定した水田農業基盤の確立
------	----------------------------------	----------------	----------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H22
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	H24見通し
◆本市農業人材の充実を図るため、認定農業者など中核的な地域農業の担い手の育成に取り組んでいる。 ◆効率的で安定的な農業経営を実現するため、土地基盤の整備を推進している。 ◆米の産地としての評価を上げ、産地間競争を勝ち残れるよう、消費者・実需者ニーズに対応した「売れる米作り」を推進している。	◆新規就農者数や施策指標でもある「認定農業者数」などについて、目標を下回っている。 ⇒H24年末の状況としては、新規就農者の確保や担い手への利用集積促進、高品質な米・麦・大豆の生産を向上させるなどの取組を強化することにより、現在の認定農業者数は維持できると見込む。	92.7%	認定農業者数	経営体	/	690	700	710	720	730	92.7%
					680	688	696	677	657	637	87.3%
課題 ◆本市農業の持続性を高めるため、長期的に農業経営を継続できる担い手の確保が課題となっている。 ◆ほ場整備推進については、農業を取り巻く環境や、負担面から整備事業への気運が低下していること、また、農道舗装やかんがい排水施設の整備にあたっては限られた財源の中、補助支援事業などへの要望が多い中での整備推進が課題となっている。 ◆「売れる米作り」の推進については、特別栽培米など付加価値の高い米や低価格米など、消費者ニーズに応じた米作りが必要となっている。											
						H20	H21	H22			
				市民意識調査(重要度・満足度)	重要度	66.4	64.0	68.8			%
				満足度	18.4	16.9	15.2			%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
〔生産力の向上〕 農業担い手の育成	→		◆農業従事者の高齢化や農産物価格の低迷等による農業後継者の減少により、担い手不足が深刻な状況にある。 ⇒H24に向け、中核的な担い手である認定農業者の育成はもとより、集落営農の組織化など、地域の実情に応じた担い手確保策を継続することにより、現在と同程度の担い手を確保できる見通し。 ◆農業担い手への利用集積については、市農業公社による農地流動化が図られ、効率的かつ安定的な農業経営が促進されつつある。 ⇒H24に向け、引き続き「農地利用集積円滑化事業」を推進することにより、規模拡大を希望する認定農業者等への農地貸付が増加し、さらなる利用集積が図られる見通し。	◆農業担い手の確保については、本市農業の持続性を高めるため、長期的に農業経営を継続できる担い手の確保が必要である。
〔生産力の向上〕 土地基盤の整備	→		◆効率的で安定的な農業経営の向上を図るため、県営によるほ場整備を針ヶ谷・城山地区などで実施し、生産性の高い土地利用型農業を拡充している。また、地域からの要望のある農道舗装整備やかんがい排水施設の整備についても重要性・優先性に基づき整備を進めている。 ⇒H24に向け、引き続き農地等の生産力の向上に資するため、整備事業の見直しを図りながら事業を進め、一定の整備が図られる見通し。	◆ほ場整備の推進については、農業を取り巻く状況や負担面からほ場整備事業への気運が低下し推進活動が年々難しくなっている。また、農道舗装やかんがい排水施設の整備については、各地区の要望が多いことから、地区の実情や施設の重要性・優先性に基づき整備を図る必要がある。
〔農産物ブランド化の推進〕 「売れる米作り」の推進	→		◆消費者・実需者ニーズに対応した米作りとして、国の農業者戸別所得補償制度に対応しながら、産地間競争に打ち勝てる米作りを進めている。 ⇒H24に向け、「農業の持続性の向上」「食料の自給力の向上」を図れるよう効率的かつ安定的な水田農業経営の確立を目指し、需要に応じた米の計画的生産や産地作りに取り組むことにより、「売れる米作り」の推進が図られる見通し。	◆特別栽培米など付加価値の高い米や低価格米など、消費者ニーズに応じた米作りが必要となっている

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	水田農業構造改革事業交付金	米の需給調整を実施し、対象作物を販売する農業者	H16	需給調整参加率	%	100	100	100	100
				集積率	%	70	73	72	
						0	0	45	50
						0	0	44	
2	担い手育成支援事業	中核的な地域農業の担い手	H5	認定農業者数	人	690	700	710	720
						688	696	677	
3	担い手育成総合支援事業補助金	宇都宮市担い手育成総合支援協議会	H17	認定農業者	人	690	700	710	720
						688	696	677	
4	農業公社運営費補助金	財団法人宇都宮市農業公社	H20	農地流動化の仲介斡旋数	回	510	510	510	510
						581	499	587	
5	原材料支給	土地改良区及び農業従事者	H45	原材料支給件数	件	35	35	35	35
						42	41	38	
6	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	国営水利施設を維持管理する土地改良区連合等	H12	整備箇所数	箇所	4	4	4	4
						4	11	13	
7	土地改良施設維持管理適正化事業補助金	土地改良区	S52	実施箇所	箇所	27	32	31	26
						27	27	25	
8	国営造成施設管理体制整備促進事業負担金	鬼怒中央土地改良区連合	H12	適切な負担	円	174	174	174	174
						174	174	174	
9	農道舗装工事	土地改良区の農道	S58	舗装地区数	箇所	30	30	30	30
						37	41	33	
10	土地利用型農業生産施設等整備事業補助金	宇都宮農業協同組合、営農集団等	H2	機械導入台数	台	11	10	10	10
				大規模共同乾燥調製貯蔵施設	施設	4	4	8	
						0	0	0	1
						0	0	0	
11	新規就農者支援事業	新規就農者、農業者、農業士、農業関連団体	H12	「新規就農者との集い」出席者数	人	80	90	90	90
						87	83	83	
12	宇都宮市農村女性支援事業補助金	宇都宮市農村生活研究グループ協議会	H20	役員会・研修会の開催	回	20	20	20	20
						48	45	42	
13	宇都宮市農村青少年支援事業補助金	宇都宮市農村青少年クラブ協議会	S37	役員会・研修会の開催	回	20	20	20	20
						23	28	29	
14	土地改良事業推進補助金	面整備実施中の土地改良区	S61	実施地区数	地区	1	1	1	1
						1	0	1	
15	農業経営高度化支援調査・調整事業補助金	経営体育成(担い手育成)基盤整備事業実施地区の土地改良区	H9	事業実施地区数	地区数	4	1	2	2
						4	1	2	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
16	県営土地改良事業調査計画負担金	栃木県		実施地区数	地区	1	1	1	1
						1	1	3	
17	県営経営体育成基盤整備事業負担金	栃木県 (県営負担金)		整備面積	ha.	7,194	211	211	236
						7,194	211	211	
				単年度整備面積	ha.	5	0	26	26
						5	0	26	
18	かんがい排水事業	土地改良区, 水利組合等	H5	実施件数	件	3	4	3	3
						3	3	1	
19	市単独土地改良事業補助金	土地改良区, 水利組合等	S41	実施件数	件	16	16	16	16
						33	21	19	
20	国営鬼怒中央地区負担金	栃木県	H8	適切な償還	千円	216,237	216,237	216,237	216,237
						216,237	216,237	216,237	
21	米粉利用促進事業	市民	H22	利用人数	人	-	-	1,400	1,400
						-	-	1,148	
22	宇都宮市農業機械士協議会補助金	農業機械士協議会 上河内農業機械士協議会 河内農業機械士協議会	S44	認定農業者数	人	690	700	710	720
						688	696	677	
				講習会農業機械士安全	回	2	2	1	1
						2	1	1	
23	農村女性支援事業	農業者	H20	研修会等の開催	回	3	3	3	3
						2	3	2	
24	営農環境整備促進事業	中島町の水路	H20	調査回数	回	7	7	7	7
						7	5	6	
25	適正施肥推進事業(水田農業)	宇都宮農業協同組合	H21	調査ほ場件数	件	-	2,178	100	100
						-	221	49	
再掲	農地・水・環境保全向上対策(共同活動)	農業者を中心として、地域住民や自治会など非農家の構成員(主体)の参加により組織された活動組織	H19	対象活動農地面積	ha	2,382	2,382	2,382	2,382
						2,382	2,382	2,382	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	3 農林業の付加価値を高める	施策名	② 農産物の産地力の向上
------	----------------------------------	----------------	----------------	-----	--------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
◆生産基盤の整った本市の優良農地と立地の優位性を最大限活用し、農産物の産地力の向上を図るため、産地間競争に打ち勝つことのできる市場価値の高いブランド農産物の生産力・販売力を強化していく。	◆施策指標であるトマト出荷量は、H22に大きな減少がみられた。 ⇒H24年末の見通しについては、天候などの影響により収量の増減があるものの、達成は厳しいと考えている。	73.4%	トマトの出荷量	トン		4,370	4,465	4,560	4,655	4,750	73.4%
					4,649	4,218	4,250	3,487	4,000	4,000	84.2%
課題 ◆ブランド農産物の知名度向上、消費拡大に加え、原発事故による風評被害などに対する取組が重要である。											
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
			重要度		71.7	69.8	73.7				%
			満足度		31.1	32.5	30.6				%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
〔農産物ブランド化の推進〕 ブランド農産物の販売促進		→	◆ブランド農産物の販売促進については、首都圏を中心に戦略的PR事業を行うことにより、知名度向上と販路拡大が図られ、うつのみや産ブランドの確立した農産物が数多くある。 ⇒H24に向け、引き続き、各種イベントなどにおいてPR活動を強化するとともに、さらなる農産物ブランドを創出できるよう、高品質・高付加価値な農産物を供給できる土作りの励行や有機栽培の奨励などの生産振興への支援をおこない、農産物ブランド化の推進が図られる見通し。	◆市場価値の高いブランド農産物の生産を継続するためには、ブランド農産物の知名度向上と消費拡大が必要であるため、市内外におけるPR活動を継続しているが、福島第一原発事故の影響により、本市農産物においても風評被害を受けている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	農産物ブランド化推進事業補助金	うつのみや農産物ブランド推進協議会	H11	うつのみや産農畜産物の市民認知度(トマト)	%	20	20	20	20
				うつのみや産農畜産物の市民認知度(梨)	%	20	20	20	
				うつのみや産農畜産物の市民認知度(牛)	%	18	18	18	18
					%	18	18	18	
2	適正施肥推進事業補助金(園芸作物)	宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他農業者の組織する団体	S49	高品質化栽培マニュアル及び実践数	本	1	1	1	1
					作物	0	1	0	
				土壌診断に基づく施肥設計作物	作物	0	0	2	1
						0	0	1	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
3	園芸作物生産施設等整備事業補助金	宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、農事組合法人、その他園芸作物の生産団体	H6	パイプハウスの補助事業導入面積	ha	3	4	4	4
				園芸作物の新技术の導入面積	a	2	2	1	
						30	30	30	30
						34	0	0	
4	宇都宮牛復興プロジェクト補助金	宇都宮牛協会	H20	宇都宮牛の出現率	%	65	76	80	80
						61	63	69	
5	優良繁殖雌牛導入事業補助金	宇都宮農業協同組合	H16	優良繁殖雌牛導入頭数	頭	5	6	10	10
						5	6	10	
6	しいたけ生産施設整備事業補助金	宇都宮農業協同組合、生産組合	H13	生しいたけの生産量	t	197	197	197	197
				生しいたけの販売額	千円	197	168	174	
						254,430	254,430	254,430	254,430
				施設整備補助団体	台	200,989	164,957	155,692	
						1	1	1	1
						0	0	0	
7	家畜伝染病予防対策事業補助金	宇都宮市家畜防疫団体連絡協議会、宇都宮市酪農組合	S47	予防接種実施頭羽数	頭羽	67,072	61,000	61,000	61,000
				脱臭剤等購入農家数	戸	67,072	93,656	72,340	
						27	25	25	25
						27	21	23	
8	畜産経営環境対策事業補助金	3戸以上の営農集団（畜産農家、畜産農家と連携する耕種農家）	S47	たい肥舎建設棟数	棟	0	0	0	0
				機械導入台数	台	0	0	0	
						3	2	0	2
						3	2	0	
9	イノシシ防護柵導入事業補助金	農業生産者	H20	防護柵の設置箇所数	箇所	10	10	10	10
						5	12	15	
10	畜産担い手育成総合整備事業補助金	財団法人栃木県農業振興公社	H19	草地等造成・整備	ha	11	3	14	0
				農業用施設等整備	m ²	3	3	4	
						3,220	1,120	5,200	0
				導入農機具	台	2,081	2,067	0	
						1	0	0	0
						1	0	0	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	3 農林業の付加価値を高める	施策名	③ 農村地域の活性化
------	----------------------------------	----------------	----------------	-----	------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
					◆農村地域の活性化を図るため、農業者や地域団体と連携した農業・農村ふれあい交流事業の拡充や農林業祭などのイベント内容の充実を図っている。 ◆農村交流の拠点施設である農林公園ろまんちっく村や上河内地域交流館等の運営を適正に管理している。	◆宇都宮市農林業祭やさつき&花フェア等交流イベントへの参加者は増加傾向にあり、より幅広い世代への農のアピールが実現している。また、各農業拠点施設については、地域に密着した事業を展開するだけでなく、より質の高いサービスを提供することにより、利用者は増加傾向にある。 ⇒H24の見通しについては、各交流施設の魅力の維持・向上を図るとともに、交流イベントの内容の充実による集客の確保に努めることにより、概ね達成が見込まれる。	96.0%	都市農村交流参加者数	千人	1,286	1,299
◆都市と農村の交流を促進し、都市住民の農への理解を深めるため、農村体験やイベント等の交流事業の実施主体を増やす必要がある。 ◆各農村交流拠点施設を十分に活用するとともに、さらなる集客の向上を図る必要がある。 ◆農林業祭等の交流イベントを通して交流人口の増加を図る必要がある。											
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	62.1	64.1	63.1			%
					満足度	37.1	34.1	30.4			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
〔魅力ある農村地域づくり〕 むらづくり運動の推進	→	→	◆地域の農業祭や各種交流事業等が各地区において積極的に開催されている。 ⇒地域独自の取組みや地域を越えた交流等さらに活発なむらづくり運動が期待できる。	◆地域団体の取組みをさらに充実させるため、引き続き地域ごとの特色を生かした事業展開ができるよう支援が必要である。
〔魅力ある農村地域づくり〕 ふれあい交流活動主体の育成	→	→	◆都市と農村の交流に意欲的な団体や地域により農業体験や交流イベントが実施され、農や自然への理解は深まっている。 ⇒H24に向け、交流事業を実施する団体や地域を拡充するとともに、さらに多様な交流メニューを提供できるよう実施主体を育成していく予定。	◆都市住民のニーズにあった事業を実施するため、さらなる受け入れ体制の充実を図ることにより、都市と農村のふれあう機会を増やす必要がある。
〔魅力ある農村地域づくり〕 農業・農村ふれあい交流事業の推進	→	→	◆地域団体や農業者が主体となって、様々な交流事業が実施され、農村地域と都市住民の交流を通して農業・農村への理解が促進されている。 ⇒各団体や農業者の実施している事業やイベント等は継続性が高いとともに、発展性があることから、市が適切に支援することにより、より内容の充実が見込める。	◆地域農業者や関係団体が連携しながら都市住民に向け情報発信し、地域の特色を活かした交流メニューやイベント内容の充実を図る必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	農業・農村ふれあい交流事業	宇都宮市民を含む都市住民及びふれあい交流事業を実施する団体	H17	共催交流事業開催数	回	6	6	6	6
				市民農園開設数	農園	13	13	13	4
						4	4	4	4
						5	5	5	5
				補助金交付団体数	団体	9	9	9	10
						3	4	5	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
2	農林公園整備費	来園者 (市民、 地域 農業者、 都市住 民)	H8	ろまんちっく村来園者数	人	1,099,000	1,020,000	1,030,000	1,010,000
						998,539	1,018,146	978,144	
3	食農体験学習事業補助金	市内各小 中学校の 食育体験 事業を実 施する団 体	H12	実施団体	校	93	93	93	93
						92	93	93	
4	地域交流館整備事業	来館者 (市民、 都市住 民)	H20	上河内地域交流館来館者数	人	240,000	241,000	242,000	243,000
						237,106	230,243	232,306	
5	農林業祭開催交付金	宇都宮市 農林業祭 開催委員 会	S37	参加者数	人	46,000	46,000	46,000	46,000
						40,000	43,000	46,000	
6	宇都宮さつき&花フェア推進事業	宇都宮さ つき& 花フェア 実行委員 会	H8	さつき出展数	鉢	250	250	250	250
						233	251	274	
				来場者数	人	36,000	36,000	36,000	36,000
						36,000	40,000	41,000	
7	農産加工管理運営事業	篠井地区 ゆたかな まちづく り協議会	H3	加工所利用回数	回	120	120	120	120
						106	103	101	
8	むらづくり総合振興対策事業	むらづく り推進協 議会	S60	むらづくり推進協議会数	地区	12	12	12	12
						12	12	12	
				各地区における交流事業開催数	回	45	45	45	45
						37	33	34	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	3 農林業の付加価値を高める	施策名	④ 環境と調和した農林業の推進
------	----------------------------------	----------------	----------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	
◆環境と調和した農林業を推進するため、農地・森林がもつ多様な公益的機能の維持・向上、バイオマスの利活用や減農薬・減化学肥料栽培など、持続可能な営農の普及・定着を図る。	◆市民意識調査の結果、施策に対する市民の重要度は横ばい、満足度は減少傾向となっている。 ⇒施策指標であるエコファーマーの認定者数のH24年末の見通しについては、達成できる見通し。	88.8%	エコファーマーの認定者数	人	/	580	620	660	710	750	88.8%
					559	623	661	666	710	750	100.0%
課題 ◆集落の都市化などにより農地・農業用水等資源の適切な安全管理が困難となっており、農地・農業用水等の資源の長寿命化のための補修等を行う仕組みを整えることが課題となっている。 ◆バイオマスタウンの構築により「資源循環型農業の推進」や「エネルギー利用の推進」など、環境に配慮した社会の実現が期待されるが、市民・事業者が積極的にバイオマスの利活用を推進し、資源循環型社会の実現への理解をどのように醸成していくかが課題である。					/						
					/						
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
			重要度			68.2	63.8	66.7			%
			満足度			20.7	18.3	17.3			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
農地・水・環境保全向上対策	→		◆多様な主体(農業者と地域住民など)が参画して実施する、農地・農業用水等農業資源の安全管理活動や環境負荷低減への取組み、先進的営農活動などへの支援として、活動組織に対して交付金や活動支援を行い、安定的な組織活動が図られている。 ⇒H24に向け、農業資本・社会資本としての農地等の機能の維持は重要であるため、支援・推進の拡充を図り農業資源の保全や環境に配慮した取組みがさらに図られる見通し。	◆集落機能の低下により、農地・農業用水等の適切な安全管理の困難化や、長寿命化のための補修等を行う仕組みをつくるなどの課題があり、さらなる取組みの推進が必要である。
バイオマスタウンの構築		○ 拡充	◆農地・森林に賦存する未利用バイオマスを効率的に利用した資源循環型社会を形成するためには、賦存量の多い稲わらや家畜糞尿の利活用が必要であることから、有機質資材を用いた良質な土づくりに向けた、耕種農家と畜産農家の連携が広がりがつつある。 ⇒H24に向け、稲わらや家畜糞尿に加え、剪定枝やもみ殻などの多量に賦存するバイオマスの利活用を推進することにより、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれたバイオマスタウンの構築に取り組む。	◆バイオマスタウンの構築に対し、「稲わら・麦わらの畜舎敷き材化」、「家畜排せつ物を主体とした堆肥化」に重点的に取り組んでいるが、地域が主体となった資源循環社会を実現させる仕組みづくりが必要となっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	バイオマスタウン推進事業	市、市民、学校、農協、森林組合、市内外の民間企業など	H21	「宇都宮市バイオマスタウン構想」の策定	件	1	0	0	0
						1	0	0	
				バイオマスに関する調査・研究	0	1	1	1	
					0	1	1		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
2	菜の花プロジェクト推進事業補助金	営農集団、農家を含む任意団体等	H21	エコファーマー	人	580	620	660	710
				ナタネ（油用）作付面積	ha	623	661	666	
						—	6	7	8
						—	6	10	
3	菜の花生産施設等整備事業補助金	営農集団等	H21	エコファーマー	人	580	620	660	710
				ナタネ（油用）作付面積	ha	623	661	666	
						—	6	7	8
						—	6	10	
4	森林整備計画推進事業	地域森林計画対象民有林（7,777ha）	H21	森林・林業振興協議会の開催	回	2	2	2	2
				森林施業計画の適正執行面積	ha	2	1	1	
						1,800	1,800	1,800	1,800
						1,800	1,800	1,800	
5	とちぎの元気な森づくり事業	地域に親しまれている里山林等	H20	整備管理面積	ha	5	6	9	26
						5	6	17	
6	民有林整備事業補助金	地域森林整備計画対象民有林の森林所有者	H20	森林整備面積	ha	193	288	235	200
						193	251	206	
7	農地・水・環境保全向上対策（共同活動）	農業者を中心として、地域住民や自治会など非農家の構成員（主体）の参加により組織された活動組織	H19	対象活動農地面積	ha	2,382	2,382	2,382	2,382
						2,382	2,382	2,382	
8	農地・水・環境保全向上対策（営農活動支援）	環境負荷低減かつ先進営農に取組んだ組織	H19	補助対象組織数	組織	4	5	5	5
						4	5	5	
9	環境保全型農業生産施設等整備事業補助金	宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他農業者で組織する団体。	H19	防霜ファン設置による受益面積	ha	3	3	3	3
						2	2	2	
10	造林費単独	市有林等の森林資源	H20	整備面積	ha	8	9	12	8
						8	9	12	
11	林道整備事業補助金	宇都宮市森林組合	H20	利用区域の森林整備面積	m	20	20	10	10
						44	23	10	
12	農業振興地域整備計画の適正管理	農振農用地区域内の農用地を所有または利用する者	S47	農用地区域変更申出受付・審査件数	件	70	70	70	70
						53	41	35	
13	遊休農地の活用促進事業	遊休農地の所有者及び遊休農地を耕作する耕作者	H20	耕作放棄地の面積	ha	93	73	53	43
						93	83	82	
14	森林ボランティア育成事業	宇都宮市森林ボランティア会員	H13	会員登録者数	人	240	240	240	240
						232	210	206	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
15	林野保護対策事業	森林公園周辺登山者や一般市民など幅広く対象となる。		キャンペーン開催日数	日	15	16	16	16
						15	16	16	
16	親子森林体験教室事業	市内に住む小・中学生	H13	参加者数	人	40	70	70	70
						68	90	275	
17	環境保全型農業直接支援対策事業	環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者・集落営農	H23	取組面積	ha				234
18	鳥獣被害対策事業補助金	イノシシ捕獲事業に取り組む個人や団体	H20	有害鳥獣捕獲許可申請数	件	42	45	45	45
				わな狩猟免許取得者数	人	1	11	11	11
					人	0	0	1	
				わな購入者数	人	1	13	13	13
					人	1	8	9	
19	鳥獣被害対策事業報償金	捕獲免許を受けた従事者	H20	イノシシ捕獲数	頭	121	120	130	135
						121	131	113	
20	環境保全型農業生産振興対策事業補助金	宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他農業者の組織する団体	H12	廃ビニール事業による適正処理量	t	245	254	263	272
					t	215	236	222	
				参加農家戸数	戸	540	560	580	600
					戸	717	581	741	

